

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第2号

イチゴ親株におけるハダニ類の発生について

病虫害防除所では平成27年度産イチゴでハダニ類が多発したことから、本年度の防除対策を徹底するため、親株の時期からハダニ類の発生状況を調査しています。

本県における過去の比較データはないものの、4月5半旬の調査では、2半旬調査に比べて寄生株率、発生ほ場率とも大幅に増加しており、寄生株率50%以上のほ場も散見されました。ハダニ類の親株での寄生数が多いとランナー（子苗）へ寄生する数も多くなり、最終的には本ほへの持ち込みも多くなることが懸念されます。

親株の時期から、ハダニ類に対する薬剤防除を徹底して下さい。また、下葉はハダニ類の寄生数が多く、薬剤もかかりにくいことから、下位葉の摘葉も併せて実施して下さい。

1 対象作物名：イチゴ

2 病虫害名：ハダニ類

3 発生状況

4月5半旬調査の結果、寄生株率、発生ほ場率とも4月2半旬調査よりも大幅に増加していた。

寄生株率 21.2%（4月2半旬 5.7%）

発生ほ場率 75%（4月2半旬 25%）

イチゴ親株におけるハダニ類の発生状況		
調査地点	寄生株率 (%)	
	4月2半旬	4月5半旬
糸島市	0	2
久留米市田主丸町	0	0
筑前町	0	5.0
直方市	0	2
飯塚市	0	4
田川市	2	2
八女市	4	1.2
筑後市	0	0
大木町	0	3.4
広川町	6.2	9.2
岡垣町	0	5.6
みやこ町豊津	0	0
平均	5.7	21.2

4 防除上注意すべき事項

- ア 下位葉にはハダニ類が多く寄生しており、薬剤もかかりにくいいため、摘葉を励行する。摘葉した葉は親株床に放置せず、ビニル袋等に入れて密封し処分する。
- イ 薬剤防除は摘葉後に行うと効果的である。なお、摘葉後は炭疽病の薬剤防除も併せて行う。
- ウ 気門封鎖剤を含めた異なる系統の薬剤を、ローテーション散布する。